



「文化教室」 満一歳

特別講座も始まる

同窓会会員の皆様の親睦を深め、東京文化学園を広く社会に紹介したいという目的で、同窓会主催の文化教室が平成元年10月に発足しました。現在開講されている教室は、お料理と英会話です。



「料理教室」

料理教室は三カ月を一区切りとして一カ月に一回、高輪プリンスホテルの柴田和郎先生をお招きして短大の調理教室で開かれています。先生には、プロの一味がかった味付けや盛り付けのコツをデモンストレーションで指導していただきます。きっと家庭の食卓をプロの味に近付けるのに役立っているのではないのでしょうか。また、武者さちよ先生(短大29年卒)には、健康に役立つ家庭料理をデモンストレーションと実習でご指導いただいております。参加されている皆様は、すっかり学生時代の気分に戻り、たいへんにぎやかで楽しそうに実習・試食されておられます。

「英会話教室」

英会話教室も、三カ月を一区切

りとして、毎週金曜日10時30分から90分間開かれています。講師は、現在短大で英語を教えておられるケネス・ワイブロー先生です。卒業後長らく英語から遠ざかっていた方でも、少し英語の経験をもっておられる方でも、それぞれのレベルに合わせて指導し力を付けてくださっています。ユーモアのある授業で笑いが絶えず、90分があつというまに経ってしまいます。

現在は、日本においても外国人の人に接する機会が多くなりました。歩いていて突然に外国人から声をかけられても、慌てないで立ち着いて受け答えできるようにしたいものです。また、外国人に接してもある程度まで自分の考えを相手に伝えることが出来るようになりたいものです。そのようなとき、英会話教室での勉強がきっと役立つことになるでしょう。

「特別講座」

平成二年度からは、料理と英会話の外に一回かぎりの特別講座を設けることになりました。6月には、菅野浩和先生が「国際化時代の日本の女性、家庭そして教育」と題してお話になられました。ヨーロッパ各地を歩かれた経験をもとにしてヨーロッパの人々の生活の仕方と日本人との比較などについてお話になられ、もっぱら自分中心、自分達の家庭中心に行動している私達に世界情勢に目をむけさせ、地球上の人間としての生き方に目をむける機会をあたえて下さったように思えます。東京文化学園を創られた 森本厚吉先生、新渡戸稲造先生の精神が、世界に目を向けた女性の教育にあったことについて述べられました。

7月には、中谷容子先生(短大47年卒)による「和紙によるアクセサリー作り」の講座がありました。千代紙の美しい柄を生かしたブローチ、ペンダント、イヤリング等がみるみるうちに作られていき、受講生の方達は手も口も盛んに動かしながら時間の経つのを忘れて熱心に作品作りに励んでおられました。

今後の予定は、9月18日(火)、10月9日(火)には三雲保子先生(高校28年卒)による「写真の写し方について」、11月13日(火)には森本晴生先生(小学校31年卒)による「暮らしの経済」、また2月には森本儋子先生をお囲みしてお茶の会等が計画されています。

よちよち歩きの文化教室ですが、同窓会会員の皆様のご希望を少しでも実現できるようにと係一同努力しています。ぜひとも多くの皆様がお友達をお誘いいただいて教室にご参加下さい。

問合せ先 同窓会文化部
電話 03 三八一〇一九六
パンフレットをお送りします。

支部会の動き

- 愛知県・岐阜県合同支部会
六月二十六日(日) 愛知県篠島「あつ美屋パークホテル」にて、野田・林両支部長ほか十二名、学園から森本晴生先生、中川悦先生が参加
- 熊本県支部会
八月六日(月) 熊本市「彩鳳」にて、村上支部長ほか八名、学園から森本儋子先生、白鳥雅子先生が参加
- 福岡県支部会
八月七日(火) 福岡市「料亭お花」にて、龍支部長ほか七名、学園から森本儋子先生、白鳥先生が参加
- 岩手県支部会
九月十五日(土) 盛岡市「大雅」にて、山田支部長ほか六名、学園から森本晴生先生、中川悦先生、鷺見美智子先生が参加
- 山形県支部会
九月三十日(日) 山形市「山形グランドホテル」にて、星支部長ほか十三名、学園から森本晴生先生、白鳥先生が参加
- 青森県支部会
十月十四日(土) 開催予定
- 新潟県支部
十一月十一日(日) 開催予定
- 和歌山県支部会
十一月四日(日) 開催予定

経専部会

フランス料理と寄席

去る七月一日「経専部会」に久々に参加、同窓の皆様にお目もじいたしました。素敵な「フランス料理と末広亭の寄席」で楽しく和やかなひとときでした。皆様と別れ難い余韻を残して。

さて学窓を巣立って五十余年、日本の敗戦という困難な戦前、戦中、戦後の時代に仕事、結婚、育児と生き抜いて今、正に「老」の真っ只中に身をおいて、そこはかない惻隠の情に胸がいっぱいになります。「文化」でいただいた教育のおかげで自分なりの智慧と努力をもちつづけることができました。

恩師森本厚吉先生のお諭しの一つに、「叫けよ、さらば開かれん。」「求めよ、さらば与えられん。」そうです。どんなに困難な事態の中でも、気を取り直し精一杯の努力をしました。これからもこの立ち向かう心は薄れることはないでしょう。今、「老人」という環境にすべて包まれています。自分自身はあまり意識していません。

以前、朝日新聞紙上で、米国の詩人サムエル・ウルマンの「青春の詩」を知りました。「青春とは人生の特定の期間を云うのではなく、その人の心の様相を言うのだ。」人は年を重ねるだけで老えない、

その人が己の理想を失った時に初めて老いに来る。正にその通りと心得ました。

あるがままに感謝の心、やさしいまなざし、慈しみのことば、仏教でいう「和顔愛語。」まわりを明るく、爽やかな生き方を実践して行きたいと思えます。

短大部会

横浜中華街で中華料理

平成と年号が改められて、初めての同窓会短大部会を、六月二十四日(日)十一時より、横浜の聘珍楼に於いて、開催致しました。

幸い晴天に恵まれ、大学側より佃正晃学長、森本晴生先生、中川悦先生を、そして森本儋子先生、松木光先生となつかしい先生方をお迎えすることが出来、また遠方からの出席者も得て、百三十八名という多数の方が出席して下さい、何よりの喜びがございました。部会は、中谷副幹事長の司会で進められ、新役員紹介、会計報告、行事報告等が行われました。又新しく「文化部」が発足し、卒業年次を越えた同窓生の交流の場となり、更に同窓会活動を理解し、参加していただける様、計画実施さ

又、お目にかかれる日を楽しみに。学園の一層の御発展と、同窓の皆々様の御多幸を祈念いたします。

黒澤先生、中川先生、それに幹事の皆々様の一方ならぬ御苦勞に心から感謝申し上げます。

有難うございました。
経専13年本科卒 徳永セツ



医技部会 (リベラ会)

母校で総会

平成年度初のリベラ会総会が9月9日桃園校舎で開催されました。出席者は会員約50名、総会の後、今年恩師の先生方を囲んで楽しい懇談の一時を過ごしました。今回の総会案内については約一六〇〇通を郵送したのですが、回収率は半数に欠ける状態でした。欠席者は、委任状を必ず提出するよう、改めてお願いします。

医38年卒 小栗豊子



右は 祝辞を述べられる 橋本敬祐先生
左は 春日誠次先生

開会の言葉で始まり、儋子先生の音頭で乾杯、続いて各先生方にご挨拶や学校の現況等のお話を伺い、和やかな楽しい雰囲気の中で、会食に入りました。十人ずつ一卓を囲み、丸い花束のような華やかな輪から明るい歓談の音が響き、次々と出されるお料理を頂いた後、お楽しみの福引が行われました。浅間高原寮の宿泊券、和光特選品などをめぐり抽選がなされ、皆当日の記念として何らかのお土産をいただきました。旧交を暖め、再会を期し、盛況のうちに岩間副幹事長の閉会の辞で楽しい会を閉じられた事は幸いでございました。
短大31年卒 大村富美子

高女部会

バス旅行に合流して

今年の部会は、年頭から決めて

おりました様に同窓会のバス旅行

「みちのくの旅」に合流して行い

ました。八月二十八日朝八時に新

宿を出発し、一路松島へ向い、瑞

巖寺を見学。宿泊先の仙台ホテル

では、グループ自由行動だったので、

それぞれお好みの食事を取る

事が出来、親睦にもプラスとなり

とても楽しいひとときでした。二

日目は会津若松へ向い「武家屋敷」

に着きました。こちらでは福島

の岡部支部長のお誘いで七人の同窓

生が訪ねられ、特に高女二十一期

の塚原久子(旧・佐々木)さんと

目黒マサ子(旧・稲葉)さんとは

卒業以来の涙の対面となり、昼食

を共にしながら昔話に花が咲きま

した。

いよいよ部会を開く「中の沢温

泉・扇屋旅館」に着きました。

宴会の後、高女の卒業である湊

会から、「同窓会や学校の行事に

積極的に参加してほしい」との挨拶

がありまして。そのあとの話し

合いで、高女部は老齢化している

ので経専部と一緒にしたらどうか

か。

高校部会

去る九月八日(土)午後二時から、

学園において、第一部は視聴覚室

で、第二部は第二カフェテリアに

会場を移して開催されました。

今回は、平成三年度の学園の生

徒募集の説明会を兼ねて行われ六

十五人が出席しました。湊会長の

心暖まるお詞を皮切りに、黒澤校

長より最近の学園紹介と説明を頂

き、小口幹事長による同窓会年間

活動説明がありました。その後、

在校生のすばらしいプラスバンド

演奏、新舞踊の御披露に感銘を受

け、第二会場へ移りました。学園

の御好意で用意された御馳走を頂

きながら、高田教頭の生徒募集の

お話を拝聴しました。おなつかし

い方とのつながりがないので協力

できるようにしたらどうか、人数

が少ないので切符の販売などで協

力が要だが現実には難しい、次

の部会もバス旅行の中で、などの

意見の交換がありました。終了後

高女部から部会の出席者に記念品

が渡されました。三日目は「あぶ

くま洞」を見学し、小名浜で新鮮

な魚料理をいただいていたから、帰路

に着きました。

高女22年卒 正木 敏江

小学校部会

第三回 同窓会

去る五月十二日第三回小学校同

窓会小学校部会が小学校講堂で開

催されました。第一期から第三

十七期(今春卒業)までの卒業生約

六十名と、橋本校長先生をはじめ

とする現職およびかつての先生十

数名が出席し、約二時間にわたっ

て歓談、飲食し旧交を温めました。

まず、はじめに、昨年来小学校幹

事会で検討されてきた、次ぎの二

議題が提出され、賛成多数で採択

されました。

① 同窓会費の設定と徴収の件

● 年会費を千円とする。

● 郵便振り込みとする。

● 毎年同窓会開催通知と一緒に

振り込みの案内を行う。

② 小学校創立五十周年に際して

同窓会から記念品を贈呈する件

● 贈呈物を小学校旗とする。

● 費用は同窓会費と寄付によ

り賄うこととする。

● 集金額については今後の検

討課題とする。

楽しみました。盛り沢山の内容に

充実した時を過ごし、再会を約し、

五時半帰路につきました。

高校28年卒 三雲 保子

学校近況紹介、先生紹介の後、

アトラクションとして、「クイズ」

が行われ、東京文化小学校に関する

面白い問題が多数出題され、大

いに盛り上がりました。その一部

を紹介しましょう。

○ 兄弟姉妹で小学校に通った

人は？ (答え 二八四組)

○ 親子では？ (答え 二二二組)

○ 過去、英語の先生は何人？

(答え 二三人)

○ 制服は何期から？

(答え 五期)

○ 小学校は今までに何回移転？

(答え 五回)

小40年卒 大内 修



逝去された先生の おもいで

守屋博先生

ご逝去



本学園前理事、医学技術専門学校前校長であられた守屋博先生は去る七月二十六日、八十六歳で逝去されました。皆様にご報告すると同時に、ご冥福をお祈りいたします。なお、ご葬儀の折の福岡現医学技術専門学校長の弔辞の一部を紹介いたします。

守屋先生は東京通信病院、国立東京第一病院、病院管理研究所、順天堂大学病院管理学教室、臨床病理懇談会、東京文化医学技術専門学校を通じて日本の病院管理学と臨床検査技師教育のパイオニアとして身をささげられその発展に貢献されました。

進駐軍から日本の病院改革の必要性を示され、病院の近代化を推進するために病院管理研究所が設立され、そこに日本の一流の指導

者が集められました。臨床検査部門の独立性を検討するために守屋先生はこれらの部門の重要メンバーの一人として参加されました。

昭和二十七年に東京文化学園の当時の理事長であった橋本寛敏先生が臨床検査を一つの専門職とする必要があることを、当時の学長森本静子先生に進言され、森本先生は臨床病理懇談会の守屋先生らに相談され、新しい女子の職業教育をやってみようという決心されました。守屋先生のこの決断がなかったら日本の臨床検査技師教育と東京文化医学技術専門学校はスタートしなかったことでしょう。

日本ではじめての臨床検査技師教育のカリキュラムは守屋先生が中心となつて故小酒井望先生らとともに作成されました。また先生自らは本校において臨床医学技術総論の講義を担当されました。

本校の初期の教科課程は殆ど国立第一病院における病院実習であり、日本の臨床検査技師教育は国立第一病院から生まれたともいえます。国立第一病院に在職された守屋先生は熱心に学生を指導され日本の臨床検査技師教育に極めて大きな功績をのこされました。

昭和四十八年に請われて東京文化医学技術専門学校の校長に就任されました。

先生はまれにみる高潔な人格の教育者であるのみならず、世間的な栄達や名利を望まず、ただ黙々としてひたすら臨床検査技師の教育に身を捧げられました。

先生が臨床検査技師教育に残した業績は赫赫として永遠に輝くことでありましょう。

平成二年七月二十八日
東京文化学園理事
東京文化医学技術専門学校校長
福岡 良男

近藤宏二先生

の思い出

医技33 小宮陽子



近藤先生の計報に接しました時、昨年の同窓会での乾杯のことが思い出されました。乾杯の音頭にしては非常に長いお話でしたが、いま思いますが、もっとお話をなさりたいかたのではないのでしょうか。約束したことは、風雨にかかわらず、守るということ、老化は足からはじまるから、タクシー等を利用して歩いた方がよいというお話は印象に残りました。

授業は解剖生理学を習いました。卒業して三十年になりますので、ほとんど忘れられました。

先生の御冥福をお祈り申し上げます。

*註 近藤先生の同窓会総会での話は、昨年の泉に、掲載されています。

春島いち子先生

の思い出

高女23 江藤照子(旧・岩井)



春島先生は昭和二十三年の旧制高女五年、最後の級担任でした。先生は進学へ就職へと一人一人に大変親身になって相談ののつてくださいました。間もなく先生は母校の日本女子大学の寮監を務められ通信教育の仕事もなさっていらっしゃいました。

私達は長い間級会も開けず先生とも御無沙汰のうちに過ぎました。昭和四十年頃から年に一度は岸先生、春島先生を囲んで同期会を開くようになりました。

そんな折、先生はいつも東京文化学園の卒業生はみんな明るく伸びのびしていても嬉しいと仰有っていらつしやいました。

その後先生がしばらく教えていらした「麹町学園」を退職されるという頃、私達はお宅に伺い女学校時代に教えて頂いた、「源氏物語」や「枕草子」など古典文学を読む会を開いて頂けたらとお願ひしましたところ快くお引受け下さいました。けれども楽しみにしておりました会も開かれないうちに先生はお身体の具合が悪くなられ、昭和五十八年十月二十九日、七十才でおなくなりになりました。細っそりとして着物がよくお似合いました先生は、物語の中の姫君の方でした。

毎年お命日を迎えますと優しかった先生のことを懐かしく想い出し、いつも私達の集いを見守っていて下さるようにと祈らずにはいられません。

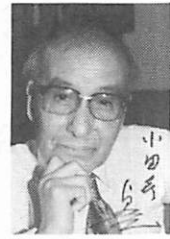
このほかに、次の先生のご逝去のお知らせをいただきました。

謹んでお悔やみ申し上げます。

安福一郎先生 元・6・29
田下尚弘先生
竹下公子先生 元・1・27

父 小田喜貞三

高28 飛田君代(旧姓 小田喜)



父が亡くなり、今年の夏で三回目のお盆を迎えました。毎年お盆には父が中心となって盆提灯を組み立てたり、ナス・キュウリで馬を造ったりして迎え火の焚き方を子どもに教え込んでいたことなど思い出しております。

父は、昭和九年の二十九才の青年時代より約四十年間にわたって女子経専から東京文化へと共に生き、そして多数の卒業生の方々と交流の深さはお手紙の内容や、写真の数々にそのことが窺われます。特に戦争を体験なさった専門学校生のモンベ姿と父の国防服姿から当時の様子がしのばれます。

専門学校昭和二十年卒の方々は、父が同窓会出席をあまりに渋ったので、家に近いお寿司屋さんでクラス会を開き、家まで送り迎えまでして下さいました。父は何でも戴いた品は大事にしまっておりましたが、その折頂いた浴衣は最期の旅立ちに看護婦さんに着せて戴き、皆様のお気持ちの結集を心の中で祈り続けておりました。

晩年の父は、カメラ、杉並郷土史会、世界旅行、宇宙全般に対する物に興味を持ち、ビデオ撮り、俳句をつくり、何しろ孫が大学に行く頃迄生きていたいと口癖でした。

死後枕許にあった薬袋に「露と落ち露と消えにしわが身哉」と記されておりました。

最後に葬儀の際には、教職員、並びに卒業生の皆様方には多大なるご心配とご弔文を賜りまして誠に有り難うございました。この紙面を借りまして心よりお礼を申し述べさせていただきます。いづれ落ち着きましたら父の手記文集をまとめたいと思っております。

黒田幸弘先生をしのんで

専25 福井路子(旧・野村)



私達英文科生が、黒田先生と共に、東京経済専門学校で過ごした昭和二十二年頃の東京は、未だ敗戦後の荒廃が色濃く残っていました。

しかし、焼け跡には掘立小屋のような建物やチラ、ホラと建ちはじめ、新橋、新宿、上野といった主要駅の周辺は、いわゆるヤミ市

の屋台店がひしめき並んで、喧噪と活気にあふれていました。

何もかも急造、仮設、間に合わせの復興の世の中で、英文科もまた、前年に新設されたばかり、専任の先生は、黒田先生と森本武也先生のお二人だけだったように思います。

黒田先生の英文法の授業は、非常に整理され、論理的で魅力がありました。

一方、当時独身でいらした先生は、時にはアルバイトの大学生かと思間違うほどお若く、学生の間では、専ら「クロちゃん」の愛称で呼ばれていました。

初めてのクラス会で、「僕は村中で一番モボだといわれた男」と思い入れたっぷりに、長い歌詞を最後まで歌われ、ガチガチの田舎者だった私は、びっくりしたことを覚えておりました。

ところで、十年程前になります「泉」に「懐かしい恩師のご近況」と題する記事がありました。その中で、黒田先生は何と、ご郷里の愛媛大学教育学部の教授として、定年退官なさるまで、教育原理、教育行政、教育法規などの講義をしておいでだったと書かれておりました。そして、「クロちゃん」という愛称からは程遠い、謹厳なお顔のお写真が添えられていました。私は、初めて先生が英文学者でなく、教育行政を専門とする学者であることを知りま

した。経専の英文科は、その後の学制改革の大波の中で、うたかたと消えましたが、先生も又、自由で、のびのびとした「ヴェリタスヴォスリベラト」の下で、私達と過ごした数年間は、仮のお姿だったのでしょいか。いろいろとおどけたことをおっしゃって笑わせたりもなさいましたが、本当の先生を知らなかったことは、不覚の至りでございました。

ともあれ、先生は愛媛大学教授として、専門の分野で自立な業績を残され、本望のご生涯だったことと存じます。ご冥福を心からお祈り申し上げます。

前新潟県支部長 目崎晶子さん

偲んで

新潟支部長 市村さち子



昨夏のこと、東京のお母様におかけした電話で肝臓癌

の悪化を知り驚愕、翌朝かけつけた時は学園の先生、故近藤先生の厚いご縁により静謐な専門病院で眠るように天に召される奇しくも一時間前でした。「やり残した仕事があつて絶対に死ねないの」と

眩きつつ前夜から次第に危篤に！と伺い、悔し涙に咽びました。平成元年八月七日。生前、人一倍信仰、供養に篤いその御霊は、孟蘭盆を待っていたように故郷の学園に安らいだものとお察しします。

病院の栄養士からPTA、市、県と純粋な社会愛は止まるどころを知らず、小さな料理教室から、50年には広い自宅の敷地に小千谷女子文化学園を創設、人口の多い都市なら必ず成功したでしょうに！現世はままならぬもの、お疲れが重なったように存じます。

明るくカラッとした信念の人の反面、優しく温かい方、計算抜きでお世話の駒を殖やして、いく行動力は進学、就職、結婚とマルチに活躍。

みぞれまじりの冬のある日、駐車場に某氏(音にきくうるさ型で義理と人情に厚い)が戻ると愛車がちよっぴりベコン、ワイパーに紙片あり「一時間ほどお待ちしましたがお見えないので帰ります。ここまでお電話を」とお詫びと共に目崎の住所電話が。某氏は即座に「修理代は不要、俺は今時その気持が気に入った」。後日ひよんな事から私の親友と知り「目崎という女は立派な人だ」と。彼女からは何も聞かない。いい話ではないでしょうか。

五十七歳の凝縮した人生はやはり卓抜なレベルで昇華したとお偲びいたします。

“VERITAS VOS LIBERABIT”

「真理は汝等に自由を与う」(新約聖書ヨハネ8章)

沿革

- 昭和2年 女子文化高等学院を東京市本郷区元町(現文京区本郷二丁目)に創立する。役員は理事長に法学博士森本厚吉、理事・法学博士吉野作造、理事・医学博士橋本寛敏、学院院长には森本静子が就任する。
- 昭和3年 専門学校令により女子経済専門学校と改称する。初代校長に新渡戸稲造、理事長兼副校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和6年 現在地所在の成美高等女子学校を引継ぎ、附属高等女学校と改称し、新渡戸校長が兼任する。
- 昭和8年 新渡戸稲造校長逝去により、副校長森本厚吉二代校長に就任する。
- 昭和9年 東京都中野区の現在地に移転する。
- 昭和18年 地方学生のために東京都中野区桃園(現中野区中野3丁目)に学生寮を開設、桃園寮と命名する。
- 昭和19年 東京女子経済専門学校と改称し、経済科・保健科・育児科を設置する。
- 昭和21年 英文科を設置する。附属幼稚園を開設する。
- 昭和22年 学制改革により、附属高女は東京経専中学校および高等学校に分かれ、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和23年 東京経専小学校を開設し、校長に森本厚吉が就任する。
- 昭和25年 森本厚吉校長が逝去したため、森本静子が校長・園長に就任し、橋本寛敏が理事長に就任する。
東京文化短期大学(家政科)を設置し、学長に森本静子が就任する。東京経専高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園を東京文化高等学校・同中学校・同小学校・同幼稚園と改称する。児童研究所を新たに設置する。
- 昭和26年 学校法人東京文化学園を設立、理事長に橋本寛敏が就任する。従来の専門学校は発展的に解消する。
- 昭和27年 短期大学内に医学技術研究室を開設する。
- 昭和30年 東京文化医学技術学校を開設する。医学技術研究室は発展的に解消する。
- 昭和39年 森本武也が学長に就任し、森本静子は学園長に就任する。浅間高原寮を長野県御代田町に開設する。
- 昭和46年 任期満了のため橋本寛敏理事長が辞任し、大浜英子理事が理事長に就任する。
- 昭和47年 医学技術学校校長に医学博士守屋博が就任する。
- 昭和49年 幼稚園長・小学校長に鈴木光雄が、中学校長・高等学校長に土居孝輔が就任。理事長に大久保安威理事が就任する。
- 昭和51年 創立50周年記念事業の一環として杉並区和田一丁目に約3,300㎡の校地を購入する。
東京文化医学技術専門学校臨床検査学科と改称。
- 昭和52年 創立50周年記念式典を挙行。東京文化学園五十年史刊行。
- 昭和53年 幼稚園長・小学校長鈴木光雄の逝去により、幼稚園長に森本光生が就任し、小学校長に永山義夫が就任する。
- 昭和54年 幼稚園・小学校新校舎が、杉並区和田1丁目に竣工し、二学期から授業開始。
- 昭和56年 医学技術専門学校校長に医学博士福岡良男が就任。旧二号館、四号館、七号館を解体し、跡地に体育館を建設し、東グラウンドを整備し、9月から使用する。創立50周年記念事業を完遂。
- 昭和57年 小学校長に橋本正礼が就任する。
- 昭和59年 短期大学長・学務理事森本武也が退任し、名誉学園長に就任。短期大学長に理学博士佃正昊が就任する。幼稚園長に橋本正礼が兼務する。
- 昭和61年 桃園寮を閉鎖し、新校舎の建築を始める。短大八号館を解体。同窓会館を新築する。
- 昭和62年 桃園校舎を新築し、専門学校東京文化学園ビジネスアカデミーを開設し、校長に福岡良男が兼務する。医学技術専門学校を桃園校舎に移転する。短大二号館を増築する。
- 昭和63年 中学校長・高等学校長に黒澤教子が就任する。



創立者
森本厚吉先生



初代校長
新渡戸稲造先生

あなたの良き後輩としてふさわしい

学生・生徒・児童・園児の

ご紹介を!

卒業生の皆さんへ

理事長 大久保安威

昭和二年に女子文化高等学院として創立した東京文化学園の同窓会は、全国に支部31か所、同窓会員数一万九千人余となりました。創立者森本厚吉先生、初代校長新渡戸稲造先生の建学の3日精神を實踐し、各方面で社会に貢献されている卒業生の活躍は、後進の者の誇りと、大きな励みとなりました。

また、卒業生のお子さんやお孫さんが母校に入学され、伝統ある校風と、新時代に即した教育を受ける姿を拝見することは、学園にとって力強いことで、皆様の信頼にこたえるよう教職員一同努力しています。

同窓会の皆様には、学園祭、総会、クラス会など折にふれて学園に来ていただき、明るい校舎と充実した教育環境に、高い評価をいただいています。

ねし、交流を深めたいと存じます。皆様のご支援をお願いいたします。

東京文化学園

案内請求券

(同窓会)

この請求券を切りとって同封した場合、学校案内は無料になります。必要とされる学校名に○印をおつけ下さい。
短大・医技・ビジネス・高校
中学校・小学校・幼稚園

短期大学

カリキュラムの概要

短期大学は現在、食物・栄養コースと教養・教職コースの二つのコース制を採用して運営されています。

食物・栄養コースは栄養士免許の取得を目的とするコースです。

食品学、調理学、栄養学、栄養指導などを中心として学びますが、昭和六十二年に行われた栄養士法施行規則の改定に伴って、解剖生理学、運動生理学、生化学などや医学的な内容が追加されたカリキュラムとなっています。このコースはそれぞれの分野での講義と並行して実験、実習が組合わされており、また、校内や校外での給食管理実習など実験、実習科目が多く、体験的学習を通して学んで行くところが特徴と言えます。

教養・教職コースの中、教養コースは特に資格の取得を目的とするコースではありません。家政学専門科目を中心として学びますが、必修科目は比較的少なく、履修したい科目を自分で選択して履修するコース、別の言葉で言えば自分で時間割を作って学ぶコースといえるでしょう。その余裕の単位を家政学専門科目にとどまらず一般

教育科目や外国語科目などに振り

向けることが出来ます。そのためこれら科目が多く開講されており、特に英語は英会話を含めて最も高単位数を取得することが出来ます。ただこのコースは食物・栄養コースに比べて実験、実習科目が少なく、また学生もこのような科目の履修を敬遠する傾向が見られましたので、数年前からカリキュラムの見直しを行ってきました。

その結果、平成二年度から実験、実習、実技科目九単位を設定し、その中から四単位の履修を卒業の要件とする事にして体験的学習の充実をはかることにしました。

一方、教職コースは家庭科と保健科の中学校教員二種免許の取得を目的とするコースです。教育職員免許法で定められた家庭科、保健科の専門科目を履修するとともに、教育原理、教育実習など教職に必要な専門科目を履修することによって、これら資格を取得することが出来ます。平成元年に教育職員免許法が久々に改定され、平成二年度から実施されています。

この新免許法では保健科専門科目が従来より四単位数追加され、また

教員の資質向上を目的として教職専門科目も強化されており、平成二年度から教職コースカリキュラムの改定を行いました。

この他に本学では聴講生制度があり、外部から履修したい科目を聴講し、単位を取得することが可能となっています。現在、生涯学習が話題となっておりますが、その一助となれば幸いとおもっております。

学園生活

四月の入学式に引き続きオリエンテーションが行われます。例年山中湖のホテルで一泊するオリエンテーションキャンプを行い、シンポジウム、小グループでの討論会などを行って、新入生同士や教職員との親睦を深めます。

五月には学友会が主催する新入生歓迎全学スポーツ大会が行われ、新入生、二年生、教職員が入り交じってクラス別に熱気のある競争を繰り返します。

夏休み明けの九月には、一年生全員が四隊に分かれ、二泊三日の日程で浅間高原寮を舞台に浅間教室が開催されます。この浅間教室ではスポーツ、ハイキング、バーベキューなどのプログラムの中心で、手、心を使って本学の三日精

神を身をもって学びます。十一月二、三日は恒例の学園あけての学園祭です。短大では各研究室の展示、文化・体育各クラブの模擬店などが企画され、卒業生も多数来校し、一、二年生間および教職員との交流が持たれる一時となります。

二月には卒業研究発表会が開催されます。二年生が一年間自分の興味を持つテーマで研究してきた卒業研究の成果を学生、教職員の前で発表します。一年生も来年の卒業研究の参考に異なるため多数出席して熱心に聞き入っています。その他に春と秋との二回、学外から特別に講師をお招きして公開特別講演会が開催されています。

この講演会は学生だけではなく、一般の人の聴講も出来ることになっておりますので、聴講を希望される方はどしどしご来校くださるようお願いしております。



浅間教室バーベキュー風景

学生募集要項 家政学科	出願方法	願書受付期間	試験日	合格発表	試験科目及び必要書類
■食物・栄養コース (栄養士免許取得) ■教養・教職コース (中学2種家庭・保健科教員免許取得) お問合せ 短大教務課 03-381-0197	推薦入学	11月6日(火)～ 11月22日(木) 必着	11月27日(火)	11月29日(木) 郵送	面接・作文・基礎学力テスト 入学志願書・調査書・健康診断書 推薦書
	試験入学	2月20日(月)～ 3月1日(金) 必着	3月5日(火) 午前8時40分 集合 午前9時 試験開始	3月6日(水)	●食物・栄養コース 国語(国語Ⅰ・Ⅱ) 英語(英語Ⅰ・Ⅱ) 理科(生物・化学より選択) 面接 ●教養・教職コース 国語(国語Ⅰ・Ⅱ) 英語(英語Ⅰ・Ⅱ) 理科(生物・化学) または社会(日本史)より選択、面接 入学願書・調査書・健康診断書

医学技術専門学校の現況

桃園校舎に移転の年にスタートした新カリキュラムによる教育も日を経るにしたがって充実し、三年間がまたたく間に過ぎてしまいました。

厚生省の指定規則の改正により病院実習も八か月に短縮され、三年生の四月より十一月の間に行われています。各実習病院の熱心なご指導によって近代医療の最先端技術と医療人としての心がまえを学んでいます。臨床検査技師国家試験も平成二年度から四年制大学卒業生の科目免除がなくなり、専門学校卒業生も臨床検査技師国家試験を受験しなければならなくなりました。試験の内容も現代医療にふさわしい高度な理論のみならず図形、顕微鏡カラー写真などによる視覚的診断等に広がりが検査現場での勉強のウエイトが大きくなりました。

合格率は全国平均六十二パーセントでしたが本学の卒業生は全員合格することができました。

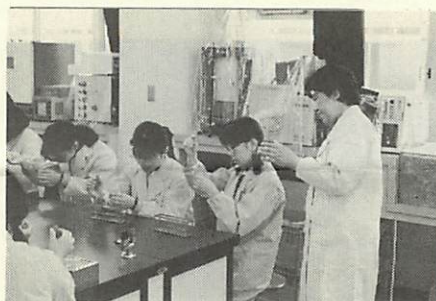
一日体験入学

目的意識がうすいため上級学校に入学後、退学する学生が全国的に増加しています。医学技術専門学校も例外ではありません。

臨床検査技師の仕事を理解し臨床検査技師になりたいという目的意識をもった学生のみを入学させるために、一日体験入学を行いました。四十六名が参加してくれました。臨床検査技師についてのオリエンテーション、講義の見学、病理標本作製、血液型検査、血球計算、血液像観察、尿検査、妊娠反応、心電図検査などの実験を体験させ臨床検査技師の仕事の素晴らしさと大切さを少しでも理解してもらえようように企画しました。大変に好評で臨床検査技師の業務と本学の教育内容を理解してもらえたようです。目的意識のしっかりした入学希望者がいましたら是非ご紹介下さい。

就職状況

最近の本学卒業生に対する求人件数と求人数は増加の傾向にあります。新卒者の大学院、大病院志向は変わりませんが健診センターや企業を希望する者も増えていきます。今年度の求人件数は、一八五施設、求人数約六〇〇人でした。既卒者に対する求人も多くよせられています。再就職を対象としたもの、アルバイト等も多々あります。卒業生の皆様のご利用いただきたくお待ちしております。



一日体験入学

平成二年度三月度の就職先

- 東京大学附属病院、東京慈恵会医科大学病院、防衛医科大学病院、東邦大学医学部付属大森病院、慶応義塾大学病院、帝京大学医学部付属病院、東京女子医科大学病院、昭和大学医学部藤ヶ丘病院、聖マリアンナ医科大学病院、東京医科大学病院、北里大学医学部病院、埼玉医科大学病院、杏林大学医学部病院、熊本大学医学部付属病院、国立病院医療センター、東京都立府中病院、東京都立清瀬小児病院、虎ノ門病院、三井記念病院、
- 聖路加国際病院、中部徳州会病院(沖縄)、立正佼成会病院、賛育会病院、心臓血管研究所付属病院、富士銀行健康管理センター、ビーエル東京健康管理センター、ライフプランニングセンター、N T T 東京健康管理センター、練馬医師会健康センター、S R L、東京大塚アッセイ研究所、メディアコム、東北医学検査センター、神奈川県予防医学協会、沖中記念成人病研究所、東京医薬専門学校(教務課)

学生募集要項

募集人員 64人
 修業年限 3年
 入学資格 高校卒業又は同程度の者
 出願書類 入学願書、出身校の調査書、健康診断書、推薦入学の場合には出身校の推薦書

選考方法	推薦入学	試験入学
願書受付	平成2年11月1日 ~12月4日	平成3年1月8日 ~2月5日
選考日	12月6日(適性検査・面接)	2月7日
合格発表	12月7日	2月8日
試験科目		「化学」 「生物又は物理」面接

*二次募集があります。 詳細は「学校案内」を御覧ください。

創立四年目の ビジネスアカデミー

四期生が今春入校し、やっと学校らしい活動が板につき始めたところですが、まだ宣伝、広告がゆきとどかず爆発的な受験生の殺到とまでゆかず苦労しています。同窓会の皆さまのお力添えを心からお願いたします。

三期生の就職

三年生に進級して、すぐ就職のためのガイダンスが行われました。六月には早くも企業からの求人票が張り出され、真剣な目つきで選考を始めました。

Y I G 性格検査とクレベリン検査の結果を聞き、自分の適性、希望を基にどこを受験するかについてカウンセリングを受けました。上級学校進学希望者の一名を除いて、企業訪問を重ね、別掲の企業に全員の就職が内定したのは、九月中旬でした。

第二期生就職内定者

(株)荏原製作所、小田急電鉄(株)、(株)国際文化会館、日産自動車(株)、日動火災海上保険(株)、P L 健康管理センター、(株)松阪屋、(株)ミキッーリスト、山一証券(株)、ラブリー(株)、自営、留学、各一名、未定一名。今年も先輩の就職先からは是非との声がかかり、一名が入社した。

専進研加盟

ビジネスアカデミーは、専修学校としては、後発の学校で、なかなか知名度があがらず、効率的な広報を期待しています。

東京都に所在する専修学校の中で基盤がしっかりしていて、学校経営の確実な学校が加盟できる、「専修学校進学指導研究会」(任意団体)に加盟が認められ、そこでの活動がはじまりました。

この専進研は、高等学校側に、専修学校の実情を理解していただき、生徒の進路指導に役立たせることを目的としています。これに加盟している学校(専門学校)は、各分野でそれぞれ着実に実績を上げていける学校にかざられるので、高校の先生から高い評価を受けています。

今年八月に、宿泊研修会があり水尾・大久保の二名が参加、分科会の座長を大久保がつとめ学校のPRに一役買うことができました。宿泊研修の期間、時間外の交流の時に背広を脱いでの語り合いにゆつたりとした気分が高校の先生方と交流ができました。この他、進学説明会、ガイドブックの作成等の活動しております。

資格・検定試験の 合格状況

一年生も入学して半年を過ぎて極めて意欲的に、検定試験にチャレンジしています。

指導の先生の熱意と、受験する本人の意欲が合致して、入学して三ヵ月目に、日商簿記検定三級に二名、全経簿記検定二級に二名の一年生が合格、全経は全員百点満点という快挙に一同拍手。

	1年	2年
英語検定*	3級7名	2級1名
Cambridge 英語検定		PREPET 1名
英文タイプ		D級 3名
ワープロ検定*		2級1名
日商簿記検定	3級1名	3級10名
全経簿記検定	3級4名	2級1名
秘書検定	3級9名	2級2名
ペン習字検定*	2級1名	3級11名
毛筆検定		3級3名

注 *印は重複している者があります。

五年目に向けて

いよいよ十八歳人口の減少期に入ろうとしている時に、ビジネスアカデミーは五年目をむかえます。夏の暑い日、母と子の二人が学校を訪ねられました。

お嬢さんが自分でしらべてきた幾つかの質問をして、応対した教員が「どうしてこの学校を選んだのですか」と尋ねると、私がい

ろな学校案内を見て、ここを選んで母に相談したら、「母はこの学校(東京文化高等学校)を卒業したから安心してお願いできる」というので決めました。とのことでした。これからの私学は、このように母と子。祖母、母、子。のように長いつながりのある学校、安心してお願いできる学校でなければならぬと思います。

企業から、卒業生を採用し、その働きぶりを見て、来年も是非採用したいので申し込んでこられ、求人数に比べ卒業生の少ない、嬉しい悲鳴をあげている今日この頃です。同窓生の皆様のお知り合いの方を、是非沢山ご紹介下さるようお願いいたします。

企業見学・芸術鑑賞

社会にでて役に立つ女性を育てることを目的としているビジネスアカデミーでは、早くから社会の実情を知り、卒業後の進路にプラスになるよう見学をとり入れていきます。今年は、「共同通信社」を見学し、ニュースの流れ、新聞社とのかかわりを勉強しました。この見学は同社の発行している受験雑誌「key・Age」に掲載されました。

歌舞伎鑑賞、NHK交響楽団の定期演奏会鑑賞、証券取引所、貨幣博物館の見学などを実施しています。

専門学校 東京文化学園ビジネスアカデミー

平成2年度 募集日程

2年制 高卒女子 英語コース60名・ビジネスコース30名

	願書受付締切	選考日	合格発表	選考内容
推薦入学	第1回 平成2年11月7日(木)	平成2年11月8日(木)	選考日の 翌日 校内掲示 午前10時	作文 面接
	第2回 平成2年12月10日(木)	平成2年12月11日(木)		
	第3回 平成3年1月17日(木)	平成3年1月18日(金)		
試験入学	第1回 平成3年2月13日(木)	平成3年2月14日(木)	午後10時	語常識 一般面接
	第2回 平成3年3月5日(木)	平成3年3月6日(木)		
	第3回 平成3年3月22日(金)	平成3年3月23日(土)		

あなたの生き様で 誇らかに母校をご紹介下さい

黒澤 教子

卒業生の皆さんお元気ですか？
様々な分野で、それぞれ活躍の
様子を、最近是国内のみならず
海外でも承わり、嬉しく思います。

卒業生の皆様に楽しく母校を語っ
て頂けるよう、中、高もまた学園
の他の五つの学校と共に、様変わ
りする新時代にむけて有為な人間
育てに頑張っています。

どうぞ母校に惜しみなくご鞭撻
とご支援をお願いします。

「東京文化」ブランド価値は
卒業生自身がつくりましょう。

周囲に喜ばれる
存在となつて！

四十年以上にわたって、生徒を
募集する側に立ち、一番心に重く
響くことは、「東京文化は良いんだ
けれど有名でないから」の言葉。し
かも卒業生から聞くときです。

戦後半世紀も過ぎ、民主化が進
んだ筈の現代にあつて、何とも不
思議なことの一つに商標主義が狂
信的になりつ、あることを挙げた
と思います。人間もまた商業
的に貼られるレッテルで自らの評
価をするとは一体どういうことな
のでしょうか。とは言え「母校が有
名ではないから」という気後れは、

個人差のあるものですが、耳にす
る以上、その事実について、母校
に最も近くに存在する以上、無視
できないとおもっています。

卒業生の皆さん、今皆さんはそ
れなりにご活躍ではありませんか
良識ある姑として、母として、妻
として、家庭に地域に喜び喜ばれ
る存在でしょうか？

自分で一つの信念の下に、自分
の人生を着々と築いておられましょ
う。その死ぬまでの人格形成の基
礎は確かに東京文化ですよ。

3日精神あり、「清潔、端正、品
位」あり、「国際的視野」あり
「創造性に富む女性」あり日本文
化の尊重あり、かつて新渡戸稲
造先生、森本厚吉先生、静子先生、
武也先生、その他、岸村上先生、
豊納先生、網野、小田喜、鈴木幸
細井、阪木、手島、神辺、島村、
土居先生等などそれぞれの時代に

沢山の先生方のご指導を頂いて、
識らず識らずのうちに東京文化に
魂とも呼べるべき風合が、皆さん
の人格の中に宿つておられると思
います。

それはりっぱな筈です。その昔、
新渡戸、森本両先生及びとりまく
方々が樹立した教育の基本は、二
十一世紀にむけてこそ役立つもの
であつたと、調べれば調べるほど
わかつてきます。

自分が生きる場で、幸せで周囲
に役立ち、喜ばれる存在であれば、
あなたの出身校はあなたにとって
日本一なのではないですか？
胸を張つて、母校を学生時代を語
り、周りの方々に紹介し、理解し
て頂いて下さい。

卒業生は母校へ、優秀な児童、
生徒、学生の紹介を積極的に！
— 母校を育てる最大の力 —

というわけで、前後をお読み頂
ければおわかりと思いますが、東
京文化七つの学校、そして人数が
多いのでとりわけ中学、高校へ沢
山の受験生が集まるよう、御紹介
をよろしくお願いします。

中学・高校の現況 役に立つ実力と人格づくり

英会話と海外研修
ますます国際化する社会で、日本

及び日本人が文化国家としての役
割を果たす場合、外国の人々と心

の交流が出来なければなりません。
心の交流の手段は言葉です。
海外の高い文化を取り込むこと
を中心としていた過去の教育では
外国語教育は訳を中心とした、い
わゆる「読む」「書く」重視でした。

学校生活の中で六年も十年も外
国語を勉強している国は世界でも
珍しいのです。

でも、それだけ学んだ人達でさ
えいざ意志の伝え合いとなるとほ
んど話せないのが現状です。
異文化を理解し、相手の立場に
立つて、ものを考えることの出来
る国民を育てようとするならば、
「聞く話す」も出来る外国語教育
でなければならぬわけです。

そこで中学校では週二時間必修
高校では選択科目に英会話の授業
を設置しました。しかも教授者は
異国語人に英語を教える専門の教
育をうけたブリティッシュカウン

シル派遣の先生方です。平常クラ
スを分割して少数クラスで実施し
ておりますので、中高六か年通し
て学習したものは、平易な日常会
話は出来るようになります。

といって「読む書く」もおろそ
かには出来ません。望むものには
進学に成功する学力も必要です。
そこで中一から英語検定を受験さ
せ、また高校では選択科目も増設
してそれに備えさせています。

ことばは使わなければ上達しま
せん。その力を試し、更に啓発さ
れる機会を与えるため、新渡戸初
代校長ゆかりの地カナダに海外研
修旅行、(平成二年は十四回目。
参加生徒一〇六名)他、ブリティッ
ッシュカウンシルを通し、英国での
英語研修(平成二年度二名参加)
を実施しています。



上 英国研修
下 カナダから来日

多様な進路に 対応する実力養成

長寿化した変容の激しい社会で、高齢に至るまで豊かに生きるためには、若年数の少ない人口構造からみて、たくましく自分で生きる力が要請されます。

職業的にいろいろと変化するでしょう。それを乗り越えるには、常に新しいことを学ばねばならなくなります。つまり充電の要です。そのためには基礎となる学習はしっかり身につけねばなりませんし、確かな知識や技術の習得はまさに「芸を身を助く」でしょう。

中高生が得られるライセンシスは、英語・漢字・書写・ペン習字・家庭などがありますが、少なくとも高卒時には三種以上のしかも高位の資格をとらせたいと思います。また、四年制大学進学志向の強まりに応え、受験に立ちむかえる学力の養成も重要なこと。六か年一貫を利用して、授業の充実を図ります。

五日制の実施

「自分のために自分で学ぶ」の実践の日として土曜日は「自学自習」の日としています。つまり五日通学六日学習です。

学年ごとにテーマがあります。中には予習・復習を習慣づけ

ることで、中二・三年は予習・復習の習慣化の継続ですが、更に私の研究というテーマが行われています。これらは土曜ノートを通して担任と家庭との連絡が行なわれ、成果をあげています。

高一是「母親に学ぶ」がテーマです。土曜日は一日、母親がわりをしながら、「母親」を通して学んでいくということ。

高二では教科色のある自学自習のテーマ「自主履修学習」です。各自で年間学習テーマを決め、途中、教科の先生の指導助言を受けながら実行します。

高三は進路を中心にすすめています。

これら五日制の生活スタイルも落ち着き、それぞれの成果をあげています。

人格を養う

多彩な行事

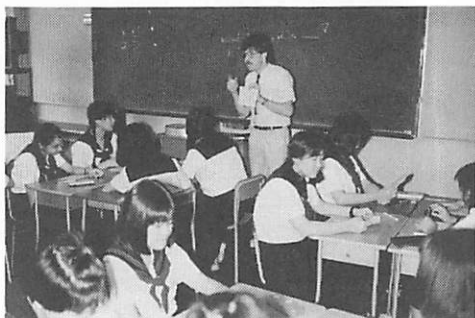
かつて「強く明るく正しく」という標語が使われたことがありますが、三日精神を体し、かつ清潔・端正・品位ある人間性豊かな女性が育つことこそ東京文化の伝統です。その人間性の育成の一環として、多彩・多様な行事を通して生徒個人の自己実現の場を用意し、体験的に習得させております。

厳しさも楽しさもある明るい学校東京文化です。

どうぞ、いつでも母校を覗きにいらして下さい。



弁論大会



中学校の英会話



中学の食堂給食



感謝の集い

平成三年度 生徒募集

来春の入学試験はつぎの通りです。

① 中高とも推薦制はとり止め、
・ 中学 国語、算数

・ 高校 国語、数学、英語、
の三科の試験を行います。

② 中・高とも期日をずらせました。受験生の資質の向上を図る。併願希望者の要望、都及び協会よりの単願推薦過多の弊害除去の要請、その他の理由です。

どうぞ、お知り合いの沢山の方々に御紹介下さり、進学説明会にお越し下さるようお薦め下さい。

平成三年度 生徒募集

● 中学校
募集人員 約一五〇名

試験日 一回 2・2(土)
二回 2・3(日)

発表日 一回 2・3(土)
二回 2・4(月)

願書受付 1・21(月)

● 高等学校
募集人員 約八十名

試験日 2・19(火)・20(水)
発表日 2・21(木)

願書受付 1・26(土)
☆ 学校説明会
中学 10・12、11・15、12・5
高校 11・18、12・1、1・15

国際化への歩み

小学校長 橋本正礼

昨年の秋、私は「教育の国際化をもとめて」というテーマ海外研修旅行に参加し、三週間にわたってヨーロッパ六か国の十六の学校を見学することができました。

そのうち四校は日本人学校で、何百人もの日本の子どもたちが日本から派遣された先生方の指導のもとに、日本の公立小、中学校とほとんど変わらない学校生活を楽しんでいました。

いくつか見学した現地校では、その国の子どもたちの中に、日本人の子どもが三人、五人と混じって勉強したり遊んだりしていますが、とてもよくその集団になじんでいる様子でした。

また、イギリス、ドイツ、パリでは、それぞれ代表的なインターナショナルスクールを訪問して、授業を見たり先生方と話したりしました。三校とも高校年齢の学校ですが、日本人の生徒が大へん多く、殊にドイツの学校は在校生の約三分の一が日本人子弟だということでした。

これらの現地校のインターナショナルスクールでは、必ず個人的に、あるいは小グループで、特別に言葉の指導をしています。言葉が分

からない子どもたちを温かい心で受け入れようという心配りがたいへん強く感じられました。

ヨーロッパ諸国は、EC統合や民主化の波の影響を受けて、急速に国際的交流を深めつつあり、このような世界情勢の変化に伴って日本もあらゆる面でいつその国際化をしなければならない時代が既に来ているのです。

世界のいろいろな国は、それぞれ違った歴史と文化を背景に、さまざまな暮らし方、考え方をしています。それらを認め合い受け入れ合いながら、他国の人々と助け合い手をつないで行ける人を、家庭と学校との教育を通して育てて行かなければなりません。

今、外国で何万人もの日本の子どもたちが生活し、勉強をしていますが、子どもたちが外国に行った時にも日本に戻って来た時にもカルチャーショックを受けないばかりでなく、逆に外国の子どもたちが日本に来た時にも、違和感を抱かずに日本の学校になじめるよう、温かく受け入れられる配慮をすることが、教育の国際化の大きな課題でありましょう。

本校では、昭和五十八年に帰国子女の受け入れを始め、これまで

に三十九名の帰国児童が編入学をしました。

また、サイパンの八名の子どもや、アンカレッジから来た姉妹、インターナショナル校のイギリス人の子ども等、外国の子どもを数週間ずつ体験入学させたこともあります。

創立以来、外人の先生による英語の授業を続けていることも、子どもたちの国際化へのステップの一つです。

これらは、いずれも小さな国際化への歩みにすぎませんが、国際的な視野に立って日本の文化を先導された創立者森本厚吉先生と、「大平洋の橋とならん」という心で一生を貫かれた初代校長新渡戸稲造先生のご遺志にも添うことであると思っています。



ロンドン日本人学校

伝統行事

「歩く会」

毎年、五月初旬に、小学校では伝統行事の一つ「歩く会」を実施しています。

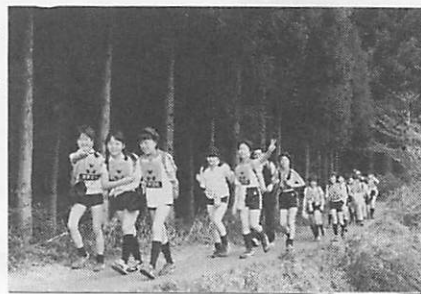
一、二年生は埼玉県の武蔵丘陵森林公園や子ども園に行つて四〜五キロのコースを歩き、三年生以上は奥多摩の御岳山から五日市の川原まで、約十四キロの山道をお弁当と水筒だけ持って歩くのです。

御岳山のケーブルカー山麓駅前までバスで行き、そこから先ず約三キロの急な登りを、ケーブルカーには乗らずに一時間程かかって歩き、山頂に到着します。

そこからは、日の出山を経てなだらかな起伏の静かな林の中の道をさつさと歩くのです。途中で昼食のため休憩をしますが、秋川の川原に着くまでの十一キロを、約四時間程で歩きます。

この「歩く会」は、元校長の故鈴木光雄先生が昭和三十六年の春から、子どもの心と体をきたえるために始められた行事です。最初は学校から井の頭公園までの往復二十キロを歩いたのだそうですが、次第に車の交通量が増え、子どもたちが歩くには適さなくなつたので、昭和四十五年から目的地を現在の所に替え、それからもう二十年も同じ道を歩き続けているのです。

これからも永くこの行事が続けられるように、五日市周辺の自然環境がいつまでもこのまま保たればよいと願っています。



歩く会

平成三年度児童募集

募集人員 男女合わせて約四十名
(内部進学を含む)

入学説明会 9月12日(水)

午前9時40分

願書受付 10月17日〜11月6日

入学テスト 11月8日(木)

合格発表 11月9日(金)

☆入学案内は小学校受付で配布中

♪ ようちえんだより ♪

園庭の雑草のしげみの中でコロギが鳴き、ぶどうも濃紫色の実を沢山つけました。

「先生、あれぶどうかな？」
「ほんとに食べられるの？」

果物屋さんの店頭しか知らない子ども達にとって、自分の手で収穫して食べるぶどうの味は格別のようです。

三歳児の教育の大切さを痛感して再開した三年保育も十一年目を迎えました。入園当初は、まだ、どこかお乳の匂いのするような子ども達でしたが、夏休み前頃から



園庭のぶどう狩り

自分の足でしっかりと歩きはじめました。嬉しい成長の様子を豆鞘先生の保育日誌からご紹介しましょう。

◇ ◇ ◇
いつしか入道雲が鯛雲に変わり、日毎に秋の深まりを感じる9月、幼稚園にまた子どもたちのにぎやかな声が戻ってきました。

ひさしぶりに会うことりぐみも夏休みにいろいろな経験をしてすこし遅くなったようです。

幼稚園でいちばん活発なことりぐみ、二学期もまた元気な姿で所狭しと走りまわることでしょう。

幼稚園ホールでのコーナー製作や園庭での新しい遊びをいち早く見つけ、「何してるの? わたしもやりたい!」とN子ちゃんやYちゃん、物おじすることなく興味のある遊びにどんどん参加する2人です。年長組が練習していた鉄棒も逆あがりももうひといきですが、前まわりはとでも上手になりました。

「先生、わたしお花摘んで来てあげたの」毎日のように空想の花束をプレゼントしてくれるSちゃんは、ちようちよが何よりも好き、園庭のカラフルな布をちようちよの

羽に見たて、すっかりちようちよになりきって楽しんでます。

スーパヒーローがいちばん強いと信じているYくん、一学期は〇〇マンになることだけが最大の興味でしたが二学期には「おい、片づけだよ」と率先して玩具の片づけをしています。

涙を流している事が多かったKくん、Nくんも徐々にお友達との遊びの輪に入るようになりました。神様の下さった自然の恵みがいっぱいの秋、年少組の子どもたちも沢山の笑いの時となってほしいと思います。(豆鞘)

浅間高原宿泊保育

夏の訪れと共に第二十一回浅間高原宿泊保育が実施されました。「年長組になったら行かれる」とずっと楽しみに待っていた浅間のお家に行かれる時なのです。

この生活の中には楽しいプログラムがいっぱいあり、一日目は、オリエンテーリングを簡単にした「カード探しのゲーム」、二日目は、「種蒔き牧場のピクニック」そして、クライマックスの「キャンプファイヤー」と続きます。

牧場では、このところ出産シーズンと重なって見ることが出来なかった兎と囲いの中で触れられるコーナーが設けられていましたので、早速、グループ毎に抱いたり、撫でたりしてみました。又、キャ

ンプソングを歌ったり、ダンスを踊ってみながら期待してきた、キャンプファイヤーも、点火・お祈り・ダンス・火花と楽しむうちに夜が更けていきました。

帰京時に、踏み切りでのアクションで電車が止まり、一時間、上野到着が遅れたものの、園児全員が、出迎えのお家の方々と元気に家路につくことができました。

毎年色々な方に助けて頂いている宿泊保育ですが、今回も、そのお蔭で無事に終了することが出来たことを感謝しつつ、二学期を迎え、一段と遅くなった子ども達と実りの秋を過ごしたいと思っております。(上野)

子どもの教育相談室

お気軽に相談を

子どもの自殺、家庭内暴力、登校拒否など、子どもの教育をめぐる諸問題が、新聞の社会面をにぎわしている昨今です。

東京文化幼稚園では、一人一人のお子さまの健やかな成長を願い、少しでもお母様方のおよき相談相手になりたいと、子どもの問題では第一人者の石井哲夫先生にご協力頂いて、「子どもの教育相談室」を開設してから六年目を迎えます。

石井先生は、日本社会事業大学の教授で、子どもの生活研究所の

所長でいらっしゃいます。

お子さまの発達に順調かどうか確かめたい方、知能テスト、心理テストの測定をご希望の方、どうぞお気軽にお問い合わせ下さい。

相談日は毎週水曜日、午前九時三十分から午後四時までで、お一人の所要時間は、約一時間三十分です。相談には愛育研究所の山本清恵先生があたります。

予約により時間を決めますので、幼稚園(電話三八一・一一八三)までお申し込み下さい。相談料は五千円です。

平成三年度

園児募集

公開保育日 9月18日(火)

雨天の場合 9月19日(金)

入園説明会 10月9日(火)

願書受付 10月31日のみ
入園児諸検査 受付順に実施
三才児男女15名
四才児男女25名
五才児 若干名

を募集します。幼稚園案内を配布中です。(無料)

東京文化幼稚園

東京文化学園同窓会 役員

	氏 名	住所	電話	
	名誉会長 白井 スエノ 166	杉並区堀の内1-10-6	03-312-0428	
	会 長 湊 くに 174	板橋区成増4-21-3	03-930-6011	湊先生学校 TEL 03-263-3011 (魏町学園)
	副会長 桜庭 法子 143	大田区池上3-17-4	03-753-2735	
	副会長 長岡 文 227	横浜市緑区桜台25-1桜台ビレッジ 4B-202	045-982-1153	
	会計監査 青木 純子 176	練馬区中村3-5-16	03-999-4212	
	会計監査 赤木 君江 160	新宿区若葉町2-8-7	03-351-4666	
経専部	幹事長 篠原 初江 187	小平市花小金井2-755	0424-65-1997	
	副幹事長 田村 美知子 181	三鷹市下連雀4-17-26	0422-43-4900	
高女部	幹事長 竹の谷 智子 272	市川市東菅野1-3-23-403	0473-25-2733	連絡先 TEL 03-806-3180
	副幹事長 江藤 照子 167	杉並区上井草2-41-2	03-390-9727	
短大部	幹事長 大村 富美子 410	沼津市西熊堂177-5	0559-21-7185	
	副幹事長 金田 容子 215	川崎市麻生区王禅寺613-89	044-954-7757	
	副幹事長 岩名 永子 176	練馬区中村南3-7-3 1-201	03-926-1073	
	副幹事長 中谷 容子 223	横浜市港北区綱島西6-21-19-302	045-545-1148	
医技部	幹事長 小栗 豊子 112	文京区小石川5-11-15小石川ビューパレス02	03-816-6146	勤務先 TEL813-3111 細菌検査室
	副幹事長 大竹 順子 177	練馬区東大泉町7-37-7	03-924-8633	" TEL813-3111 血液検査室
	副幹事長 北川 輝子 214	川崎市多摩区長尾6-9-6	044-888-9988	" TEL454-5069 ライフプラン ニング検査室
高校部	幹事長 小口 幸子 166	杉並区和田3-31-15-306	03-318-2144	
	副幹事長 三雲 保子 166	杉並区和田1-67-17	03-381-1049	
	副幹事長 横尾 久子 166	杉並区和田1-70-16	03-381-6030	
	副幹事長 佐藤 直子 184	小金井市緑町5-10-22	0423-81-1080	
小学校	幹事長 能村 佳子 166	杉並区和田1-28-7-201	03-384-0364	
	副幹事長 小島 田鶴子 166	杉並区堀の内2-31-1	03-311-2234	
特別校内理事	森本 晴生	03-381-0196 内線 271	0484-63-0276	
	中川 悦	03-381-0196 内線 237	03-361-6474	
	黒澤 教子	03-381-0196 内線 281	03-391-7351	
	白鳥 雅子	03-381-0196 内線 234	0474-72-4070	
	小島 圭子	03-381-0196 内線 249	03-384-4639	
	小松 洋子	03-381-0196 内線 224	0423-84-5661	
	鷺見 美智子	03-381-0196 内線 238	03-981-4470	
校内理事	橋本文子	03-381-0196 内線 224	0424-62-2152	
	小坂 紀子	03-381-0196 内線 231	0422-55-7180	
	大島 恵子	03-381-0196 内線 235	03-299-4772	
	杉山 佐百合	03-381-0196 内線 229	0423-63-0486	
	盛 響子	03-381-0196 内線 230	03-904-1503	
	宮本 礼子	03-381-0121	0423-26-1247	
	(同窓会室)	03-381-0196内線232		
	大池 光子 164	中野区本町6-41-1	03-381-4715	
総 務	山端 道子 156	世田谷区羽根木2-1-10	03-321-8030	

収支計算及び予算

(単位：円)

収入科目	平成1年度		平成2年度	支出科目	平成1年度		平成2年度
	予算	決算			予算	決算	
1 会費収入	3,240,000	3,240,000	3,033,000	1 通信費	150,000	180,310	200,000
	小 5,000×31人 = 155,000		小 5,000×40人 = 200,000	2 印刷費	100,000	92,817	100,000
	高 5,000×215 = 1,075,000		高 5,000×173 = 865,000	3 会合費	380,000	358,108	380,000
	短 6,000×271 = 1,626,000		短 6,000×255 = 1,530,000	4 事務費	30,000	31,560	30,000
	医 6,000×54 = 324,000		医 6,000×52 = 312,000	5 会報会計へ繰出	1,200,000	1,200,000	1,200,000
	BA 6,000×10 = 60,000		BA 6,000×21 = 126,000	6 交際費	200,000	199,830	200,000
				7 支部費	120,000	88,100	100,000
2 受取利息	150,000	265,189	200,000	8 総会計へ繰出	400,000	400,000	400,000
3 雑収入	0	0	0	9 部会活動費	300,000	300,000	300,000
4 年会費	1,550,000	2,011,000	1,800,000	10 入会記念品費	450,000	405,350	450,000
5 前年度より繰越	462,982	462,982	419,976	11 役員交通費	200,000	250,500	250,000
収入合計	5,402,982	5,979,171	5,452,976	12 人件費	700,000	700,000	700,000
				13 名簿部へ繰出	1,000,000	1,000,000	1,000,000
平成1年度末残高	本会計	17,787,665		14 積立金	100,000	300,000	100,000
	事業部	8,826,869		15 子備費	73,082	52,620	42,976
	名簿部	1,870,435					
	会報発行部	301,316		小計	5,402,982	5,559,195	5,452,976
	計	28,786,285		次年度繰越		419,976	
				支出合計		5,979,171	5,452,976

東京文化化学園同窓会支部一覽表

平成2年10月1日現在

北海道札幌支部	玉木美佐	060	札幌市白石区菊水五條3-4-32	TEL 011-82-8283
帯広支部	川上幸子	080	帯広市依田町6	TEL 0155-23-2201
青森支部	木村正枝	030	青森市浜田板橋23	TEL 0177-39-5010
秋田支部	那波ノブ	010	秋田市保戸野中町6-14	TEL 0188-62-2570
岩手支部	山田泰子	020	盛岡市東緑ヶ丘17-12	TEL 0196-61-8453
副支部長	佐藤栄子	020	盛岡市山岸6-38-27	TEL 0196-63-0072
山形支部	星信子	990-23	山形市飯田5-16-4	TEL 0236-41-7547
副支部長	斉藤節子	999-83	山形県飽海郡遊佐町字堅田31	TEL 02347-2-2438
宮城支部	稲村きくえ	960	仙台市鶴ヶ谷5-20-19	TEL 022-251-3675
新潟支部	市村サチコ	940	長岡市弓町1-3-21	TEL 0258-32-1237
副支部長	高橋嘉子	950-21	新潟市寺尾東3-11-26-21	TEL 025-269-5415
福島支部	岡部ますみ	963-02	郡山市大槻町旅野木34	TEL 0294-51-1631
副支部長	渡部記子	967	南会津郡田島町大字永田道上350	TEL 0241-62-1129
富山支部	布村清子	939	富山市大町一区南部43-5	TEL 0766-25-3557
副支部長	吉田のり子	939-13	砺波市東保598-2	TEL 0763-37-0170
長野支部	山崎さち子	390-63	松本市浅間温泉189	TEL 0263-46-0882
副支部長	栗林光江	389-06	埴科郡坂城町南条2,304	TEL 0268-82-2273
茨城支部	山田よし	319-15	北茨城市磯原1,215-3-15	TEL 0293-42-0194
副支部長	山田節子	308	下館市下関崎下165-11	TEL 0296-2-6007
栃木支部	戸部八重	320	宇都宮市西2-2-30	TEL 0286-34-6589
副支部長	豊島玲子	323	小山市神島谷1,085-4	TEL 0285-22-1069
群馬支部	塚田幸子	371	前橋市日吉町2-6-11	TEL 0272-31-7090
副支部長	佐藤春枝	371	前橋市朝日ヶ丘1-7	TEL 0272-51-6850
副支部長	関口貴美恵	371	前橋市昭和町3-8-10	TEL 0272-32-3751
静岡支部	島田良香	430	浜松市下池川町2-11	TEL 0534-71-2569
岐阜支部	林志づ	504	各務原市那加雲雀町37	TEL 0583-82-0770
副支部長	友枝節子	500	岐阜市夕陽丘11	TEL 0582-62-8895
愛知支部	野田梅子	464	名古屋市千種区田代町観音堂西15-3	TEL 052-711-2959
副支部長	朽木美代子	465	名古屋市名東区松井町311	TEL 052-703-7716
鳥取支部	中田正子	608	鳥取市馬場14	TEL 0875-22-3409
兵庫支部	上田文子	654	神戸市須磨区竜が台2-1-42-204	TEL 078-793-2548
岡山支部	柳田陸子	700	岡山市当新田490-298	TEL 0862-43-7931
副支部長	小橋美恵子	700	岡山市東古松5-8-29	TEL 0862-31-4870
広島支部	石橋勝子	729-64	広島市高田郡甲田町上甲立709	TEL 0888-83-8227
高知支部	森美佐子	780	高知市高須新町4-8-3	TEL 0888-23-5445
副支部長	西山迪代	780	高知市上町1-11-34	TEL 07356-2-3075
和歌山支部	堀本京子	649-35	西牟婁郡串本町串本1851	TEL 07356-2-3988
副支部長	藤野美千代	649-35	西牟婁郡串本町串本1392	TEL 0899-73-6099
愛媛支部	鎌田徳子	795	松山市高岡町781-7	TEL 0897-41-6888
副支部長	藤田喜美代	792	新居浜市船木2995-1	TEL 09447-2-2213
福岡支部	龍乙栄	832	柳川市靴屋町48	TEL 09304-2-1334
副支部長	森田幸子	824-02	福岡県京都郡犀川町大熊字一木306	TEL 09724-2-0005
大分支部	長田尚子	826-24	大分県南海部郡蒲江町大字蒲江浦3,383	TEL 09722-2-8018
副支部長	麻生イシ	876	佐伯市西谷5班	TEL 0986-22-3137
宮崎支部	中村民子	885	都城市蔵原町8-2	TEL 0957-52-3459
副支部長	手塚京子	880	宮崎市祇園町1-71	TEL 0958-23-4271
長崎支部	久松つる江	856	大村市片町71	TEL 0963-62-3563
副支部長	村上鈴子	850	長崎市風頭町11-6	TEL 0992-55-3687
熊本支部	村上正子	862	熊本市大江5-16-18-503	TEL 0992-61-6328
副支部長	林田陽子	867	水俣市江添町370尾田医院内	TEL 09893-3-0822
鹿児島支部	堀川ミヨ	890	鹿児島市天保山町13-15	
副支部長	永山高子	890	鹿児島市和田町883-6	
沖縄支部	阿波根由子	904	沖縄市諸見里3-9-6	

みちのくの旅

8月28日 新宿→松島(瑞巖寺参拜)→仙台ホテル泊、グルー
プ自由行動

8月29日 仙台→会津(武家屋敷色沼散策)→中の沢温泉扇屋泊

8月30日 扇屋→あぶくま洞見学
1小名浜(昼食買物)→新宿
この度の参加者は五十三名。以前とは少し趣が異なりホテル宿泊自由行動・ちよっと新鮮なものを感じた。

新宿を出発し松島に着いたのは七時間後の十五時頃。朱塗りのすかし橋を渡り島の上に建つ五大堂へ。お堂の外壁には十二支の彫刻、南正面には巳午未の三つが並べられていた。瑞巖寺守護のため五大明王が祀られているというが十二支の意味は何かしら。思えば四十年前前専門部三年の秋、安達さんと当地を訪ねたがすべてその時と印象が異なっている。

次に瑞巖寺。山門をくぐり右に行くに岩窟、その上段にも洞窟や人の像の刻まれたものがあり、余りの大きさに茫然とたちつくした。昔こそ旅僧が座禅をしたと聞く。正面参道に立ち仰ぎ見れば両側の杉木立の大きさが天にも届かばかり。大伽藍本堂は桁行13間

(39m) 梁間(25.2m)、豪華な彫刻彩色と相俟って桃山美術の粋を今に伝えて、誠に伊達政宗公ならではの偉業と言えよう。

翌日会津への途中、バスが安達太良山に登り土湯峠にさしかかった頃濃霧に覆われ一寸先も見えない。トンネルに入り、出た。パッと明るく晴れた。すすきの穂は一面開く秋。この情景も忘れ難い。そして旅の風景もさることながら仙台での自由行動の開放感がなつかしい。自由に歩き食べ語り今までと違ったものだった。これからはゆっくりと自主的に動く日も折り込まれると楽しいのではないかしら。

最後にこの旅行のためにお骨折りに下さった方々そしてお出迎え下さったみちのくの同窓の方々によりお礼を申し上げます。

専門26年卒 井田トミ子



理事会と

幹事会

平成元年度

第四回理事会

十二月八日

○学園祭売店報告

○文化部報告

○同窓会入会式について

○国内旅行について

平成二年度

第一回理事会

四月十一日

○新幹事歓迎会について

○平成二年度予算について

○国内旅行について

○観劇会について

第一回幹事会

四月二十四日

○平成元年度決算・平成二年度予算について

○今年度事業計画について

第二回理事会

五月十六日

○役割分担について

○観劇会について

○国内旅行について

第三回理事会

九月十九日

○学園祭について

○「泉」発送について

○国内旅行について

「第七回ほのぼの会」

六月三日(日)新宿の三笠会館に於いて昭和四十二年高校卒の「ほのぼの会第七回」を開催致しました。今回は、「味」の秘訣うちあげ手帖」の本を出された、服部津貴子(旧姓・染谷)さん、日舞の先生をしていられる細谷正江(旧姓・平岡)さんら、各方面で活躍されている方々、二十余名の出席を得、楽しいひとときを過ごしました。

宮本婦美子(旧・大熊)記

年会費をお忘れなく

卒業後十年以上経過した方々には、年会費として毎年千円の納入をお願いしております。昨年度は延べ二〇一人からご協力いただきました。ありがとうございます。

年々七百人程度の会員が増加しますので、通信連絡などの費用が上がっています。一人でも多くの方々の協力で、同窓会の運営がそれだけスムーズになります。今回は、昭和五十五年三月までに卒業された方々に年会費の振込用紙を同封いたします。お近くの郵便局からお振込みくださるようお願いいたします。

観劇会

さる五月二十六日(土)、日比谷芸術座において、東宝現代劇「結婚する手続」(石井ふく子演出)を鑑賞しました。今年も会員の皆様のご協力で満席となり、九十七万円余りの純益を上げることができました。

終演後、花束贈呈のあと石井ふく子さんのご挨拶がありました。

謹んでお悔み申し上げます。

堀江 静江	経専6	63・11・3
佐々野春路	経専6	58・
植原千代子	経専6	58・
鬼頭 孝子	高女14	元・11・11
山木由紀子	(竹森)	60・
宮本 充子	高女21	59・
田島 ヨネ	短大33	62・1・30
佐藤ヒフミ	高校29	2・4・
大野 菱子	高校38	63・10・5

発行所	東京都中野区本町 5-38-1 〒164 東京文化学園同窓会 電話 03-381-0196
発行人	湊 くに
編集人	青木 純子
印刷所	株式会社 神木印刷